

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査データを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや画像データを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

**【研究課題名】**  
愛媛県における精巣腫瘍、精巣捻転症の疫学調査

**【研究機関】** 愛媛大学医学部附属病院

**【研究機関の長】** 杉山隆（病院長）

**【研究責任者】** 西村 謙一（愛媛大学医学部附属病院泌尿器科助教）

**【研究の目的】**  
小児精巣腫瘍の発生頻度は10,000人当たり0.5-5人であり好発年齢は2歳と思春期にピークがあると報告されています。しかし、この報告は1979年Brosmannらによる報告であり日本での報告はありません。また、同様に精巣の捻転など泌尿器科疾患の日本（愛媛県）における有病率は不明です。今回、愛媛県内の精巣腫瘍と精巣捻転症の有病率を調査することで、今後の医療体制の見直しを図ります。

**【研究の方法】**  
愛媛県立中央病院、愛媛県立今治病院、愛媛県立新居浜病院、松山市民病院、松山赤十字病院、済生会松山病院、住友別子病院、十全総合病院、市立八幡浜総合病院、市立宇和島病院、市立大洲病院、南松山病院、四国がんセンター、済生会今治病院から診療情報を集計します。そして、愛媛県の人口動態調査をもとに有病率、診断時年齢、手術時年齢、手術施行地域などを調査します。

**【精巣腫瘍の調査項目】**  
生年月日、住所、手術日、患側（左右）、組織

**【個人情報の取り扱い】**  
収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 > 愛媛大学医学部附属病院泌尿器科 西村謙一

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**  
愛媛大学医学部附属病院泌尿器科 西村謙一  
〒791-0295 愛媛県東温市志津川454  
Tel: 089-960-5356

独立行政法人国立病院機構四国がんセンター 泌尿器科 橋根勝義  
〒791-0280 愛媛県松山市南梅本町甲160  
Tel: 089-999-1111